

「未来をつかむTECH戦略」

この素晴らしいプロジェクトの実現に向けて

2018年4月26日

若宮 正子

その1

現代の一般人の希望・要望という視点から

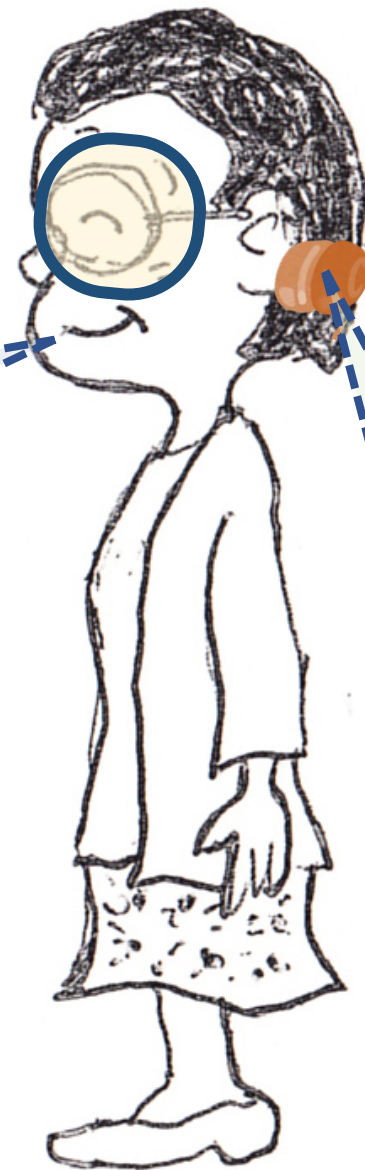
このレポートは素晴らしい未来を語っていると感じます。しかし「近い将来こういうテクノロジーが出現するから、この分野に使えないか」的な視点から描かれている部分が多いと思います。

加えて、一般人がこれからのテクノロジーの進化に「求めているもの」は何か、という点も付け加えていただきたい。

(例1) 人の顔が覚えられない悩み



あの人
誰？



元上司の
ヤマダさん

(例2) 落とした眼鏡を探して
手元に持って来てほしい
(ひとりで起き上がれない人から)



その2

未来像を実現するためのインフラ整備を

ロードマップを明示し、
2030年、2040年までに
並行して進めることが必要と思います。

例えば

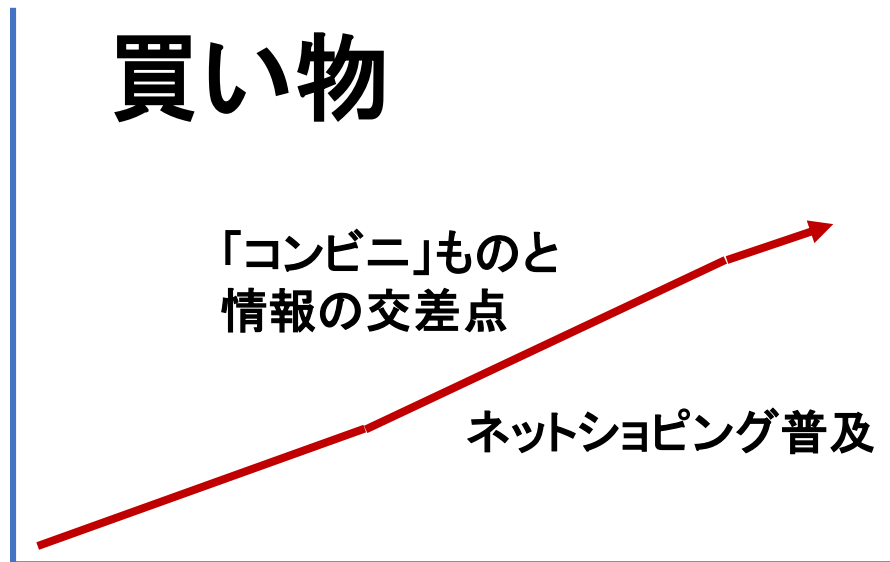
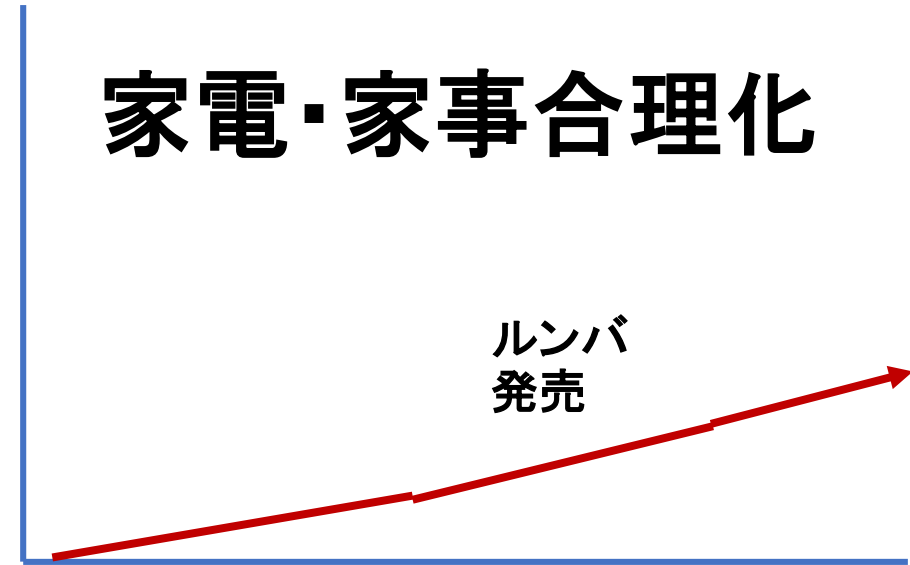
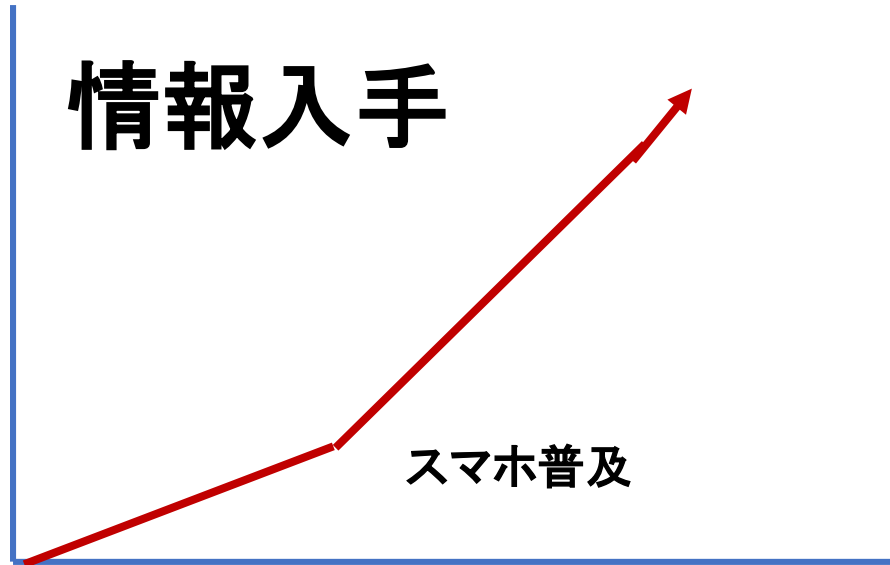
- ・マイナンバー制度の活用推進
（いつでもドクター等に必要）
- ・全戸にインターネット環境を
（地域差、所得格差、施設）
- ・サービス導入、機器購入に当たっては、
誰もがすぐに使えるように
（マニュアル不要、サポートセンター不要）
- ・理科、情報科などのリカレント教育を

その3

未来像を実現させるために過去に学ぶ

テクノロジーの進歩で、
20年前と比べて
普通の人暮らしはどう変わったか

一般人から見た**過去20年**の進歩(感覚的ですが)



★ 医療、介護、福祉情報化の遅れ (膨大な国の負担。国家喫緊の課題)

医療・介護情報

- ・情報が共有されていない
- ・関係者が情報にアクセス・活用できない
- ・個人情報保護法違反恐怖症(人命より重い?)

高齢者介護だけでなく
高齢者自立に役立つ
機器・グッズの開発と普及

- ・AIスピーカーの サービス内容の拡大
- ・安価、操作手順が簡単な家事ロボットを

その4

個人の独創性を重んじ、活かせる社会に

- ・マイアプリを気軽に作れる「簡単プログラミング言語」「自然言語に近いプログラミング言語」の開発。
- ・3Dプリンターその他、家庭向けDIY機器の開発
地域ごとに「工房」を

その4

地域の独自性を尊重し、活かせる社会に

- ・小規模商店、サービス業が個性を発揮できる町に。
- ・どの街も中心部の店舗が代わり映えのしない「コピペ・タウン」にならないように

その5

人間が主体的に取り組まなくてはならないことは何かを考える

- ・AIと人間との棲み分けを考える
- ・人間は、リアルな人間にしか出来ないことをする
- ・自分だけの価値を大切にする。
- ・ぶっ飛んだ発想をする、発想する人を大切にする。
- ・夢を持つ。人を愛する。

これらの問題は、

- ・テクノロジーの進化だけでは解決が難しいと思います

- ・しかし、テクノロジーで解決できる部門もあると思います

- ・どうぞ、よろしくごお願い申し上げます。